

## Press Release

2019年6月6日

## アステラス製薬と日本マイクロソフト Mixed Reality を活用した医師と患者さんの コミュニケーション支援ソリューションの開発で連携

- 2019年後半から、試験的にコンテンツの提供を開始 -

アステラス製薬株式会社(本社:東京、代表取締役社長 CEO:安川 健司、以下「アステラス製薬」)と日本マイクロソフト株式会社(本社:東京、代表取締役 社長:平野 拓也、以下「日本マイクロソフト」)は、医師と患者さんのコミュニケーションを支援するためのソリューション開発で連携します。

日本では医療機関を受診する外来患者の9割以上が、医師から病気や症状についての説明を受けています\*1。しかしながら、骨粗しょう症等の一部の病気においては、「治療に対する理解の不足」や「服薬意義の理解の不足」等から服薬アドヒアランス\*2 が低いことが報告されています\*3

こうした課題を解決するため、アステラス製薬は日本マイクロソフトと連携し、骨粗しょう症等の服薬アドヒアランスに課題のある疾患を最初の対象として、Mixed Reality(複合現実)\*4 を活用した疾患啓発コンテンツなどのコミュニケーション支援ソリューションを開発します。Mixed Reality は、リアルに表現した臓器や骨などの映像・画像を現実世界に投影し、それらのイメージに触れるように操作できる技術です。Mixed Reality を活用したコンテンツを、マイクロソフトのパブリッククラウドプラットフォーム Microsoft Azure\*5 を通じて医療機関に提供することで医師と患者さんのコミュニケーションがより円滑なものとなり、服薬アドヒアランスの向上につながることを期待しています。

アステラス製薬は患者さんに病気やその治療の意義などを理解いただくためのコンテンツの企画立案および開発、医療機関へのコミュニケーション支援ソリューションの提供等を担当します。日本マイクロソフトは、この支援ソリューションの開発において、海外や他業種での Mixed Reality 活用ノウハウの共有、技術支援等を行います。なお、このコンテンツは、Mixed Reality を実現するヘッドマウントディスプレイである Microsoft HoloLens\*6 および将来的にはその次世代デバイスである Microsoft HoloLens 2 を使用することを想定しています。

アステラス製薬では、2019 年後半から、一部の医療機関を対象に試験的にこのソリューションの提供を開始し、その評価も踏まえ、日本マイクロソフトと連携してコンテンツの改良を行い、2020 年以降全国展開する予定です。また、将来的には、服薬アドヒアランスに課題のある他の疾患へも対象を拡げていく予定です。

アステラス製薬は、最先端の科学を追求し、患者さんに価値をもたらす医療ソリューションを創出することを VISION に掲げています。世界中の病気に苦しむ患者さんの治療に貢献するために、様々なパートナーとの協働を通じて診療現場における課題解決にも取り組んでいきます。

日本マイクロソフトは、医療・医薬品分野における”ヘルスケアクラウド”の浸透を通じて、病院や製薬企業が抱える様々な課題解決に取り組んでいきます。

【イメージ図】



以上

\*1:厚生労働省 平成 29 年受療労働調査(P10)

\*2:服薬アドヒアランス: 患者さんが積極的に治療方針の決定に参加し、その決定に従って治療を受けることにより服薬を継続すること

\*3 骨粗しょう症の予防と治療ガイドライン 2015 年版(表 29)

\*4 Mixed Reality(複合現実): 3D グラフィックなどで作られた映像や画像(ホログラム)を、現実世界に重ね合わせて表示することで、目の前に実物があるかのように見たり、動かしたりできる技術。ホログラムを拡大、縮小、回転、移動など操作できることから、模型を実物大で複数人の前に表示して議論を深めたり、手順を確認しながら作業できたり、製造、建築、教育、医療など様々な業種において、活用が期待されています。

**\*5 Microsoft Azure:** ビジネス上の課題への対応を支援するために絶えず拡大を続ける、マイクロソフトのクラウドサービスの集合体です。必要な時に必要なだけ利用できるため、コストパフォーマンスや拡張性、柔軟性に優れたクラウドプラットフォームとして、多くの企業が利用しています。

**\*6 Microsoft HoloLens:** Windows 10 を搭載し、携帯電話やパソコンなどの外部機器と接続する必要がなく、ワイヤレスで使用できる、全く制約のない初めてのホログラフィックコンピューターです。HoloLens を通して、リアル空間で物理的な環境においてホログラムなどのデジタルの映像や画像を配置でき、その世界を見たり、そこでデジタルコンテンツを操作したりすることが可能となる新しい方法を提供します。次世代デバイスとなる Microsoft HoloLens 2 は、2019 年内に提供開始予定です。詳細は下記 Web サイトを参照ください。

<https://www.microsoft.com/microsoft-hololens/ja-jp>

Microsoft、HoloLens、Azure は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

#### **アステラス製薬について**

アステラス製薬株式会社は、東京に本社を置き、「先端・信頼の医薬で、世界の人々の健康に貢献する」ことを経営理念に掲げる製薬企業です。アステラス製薬の詳細については、(<https://www.astellas.com/jp/>)をご覧ください。

#### **日本マイクロソフトについて**

日本マイクロソフト株式会社は、マイクロソフト コーポレーションの日本法人です。マイクロソフトは、モバイル ファースト&クラウド ファーストの世界におけるプラットフォームとプロダクティビティのリーディングカンパニーで、「Empower every person and every organization on the planet to achieve more. (地球上のすべての個人とすべての組織が、より多くのことを達成できるようにする)」を企業ミッションとしています。日本マイクロソフトは、この企業ミッションに基づき、「革新的で、安心して使っていただけるインテリジェントテクノロジーを通して、日本の社会変革に貢献する」企業像を目指します。

#### **注意事項(アステラス製薬)**

このプレスリリースに記載されている現在の計画、予想、戦略、想定に関する記述およびその他の過去の事実ではない記述は、アステラス製薬の業績等に関する将来の見通しです。これらの記述は経営陣の現在入手可能な情報に基づく見積りや想定によるものであり、既知および未知のリスクと不確実な要素を含んでいます。さまざまな要因によって、これら将来の見通しは実際の結果と大きく異なる可能性があります。その要因としては、(i) 医薬品市場における事業環境の変化および関係法規制の改正、(ii) 為替レートの変動、(iii) 新製品発売の遅延、(iv) 新製品および既存品の販売活動において期待した成果を得られない可能性、(v) 競争力のある新薬を継続的に生み出すことができない可能性、(vi) 第三者による知的財産の侵害等がありますが、これらに限定されるものではありません。また、このプレスリリースに含まれている医薬品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

---

**お問い合わせ先:**

アステラス製薬株式会社

広報部

TEL: 03-3244-3201 FAX: 03-5201-7473

日本マイクロソフト株式会社

コーポレートコミュニケーション本部

TEL: 03-4535-8055 E-mail: [mskkpr@microsoft.com](mailto:mskkpr@microsoft.com)